



神埼市立
千代田中学校

第 11 号 文責(校長 原田 浩臣)

2022/12/23 発行

“千代田中だより”

千代田中学校教育目標

夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成

～ Chance Challenge Change ～

<https://www.education.saga.jp/hp/chiyoda-j/> TEL 0952-44-2222



お天道様が見ている

12月6日 文部科学省は、「生徒指導提要」を12年ぶりに改訂しました。その中で「自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち、『自己指導能力』を獲得することが目指されます。」としています。自己指導能力とは、「その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する能力」であり、適切な行動とは「自分のためにもなり、他の人のためにもなる行動」と捉えることができます。

最近あまり聞かれなくなりましたが、私が子どもの頃「誰も見ていなくても、お天道様（おてんと）様が見ているよ」という言葉をよく耳にしました。私自身は、祖父母や父母からよく言われていました。自分はこの言葉を今でも信じていますし、この言葉にずいぶん助けられました。大好きな言葉です。

「お天道様」は、「おてんとさま」または、「おてんとさま」と読みます。ここで「お天道様」とは本来、太陽の事を指しますが、神様に置き換えられる場合もあります。「たとえ誰も見ていなくても、空の上の太陽はあなたの行動を見ているよ」「どんな時でも神様が見ているよ」という意味です。例えば、誰も見ていないから道にごみのポイ捨てをしてしまったり、農道で周りに誰もいないので自転車の並列運転を試みたり、誰も見ていないし車も来てないからから赤信号渡っちゃえ！など「これぐらいはいいじゃないか」と誤った行動をしてしまった経験はありませんか。こんな時、「お天道様が見ているから悪いことはしてはいけませんよ」という教えになります。

また、「お天道様」を自分自身に置き換えられる場合もあります。いろんな成果を上げている人というのは、誰も見ていない時でもきつと地道な努力をしているに違いありません。「誰が見ていなくても、自分の心はその行動をしっかりと見ています。努力を続けるべきところなのに人目がないのでサボるのか、それとも人の目がないところでも努力を重ねるのか。結果は自分自身に返ってくるのもだということを忘れてはいけません。」という意味です。

こうしてみると「誰も見ていなくてもお天道様が見ている」という言葉は、本当に大切な教えだと改めて感じます。日本人は道徳心が高いといわれる要因の一つでしょうか。「誰も見ていないからいいや」「誰にも見られていないから良いことをしてもしょうがない」「誰も褒めてくれないからやらない」と心の弱さに流されそうとき、この言葉を思い出し自己指導能力を育てて欲しいと思います。あなたの行動は善きも悪しきもいつか人の知るところとなると思います。

ふれあい道徳&STEAM教育

STEAM教育とは、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、アート(Art)、数学(Mathematics)の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念です。知る(探求)とつくる(創造)のサイクルを生み出す、分野横断的な学びとなります。その中で、諸外国に比べても、日本における理系女子は大変少ない状況です。そこで、国をあげて理系女子を増やそうというプロジェクトが進められています。

本校でもキャリア教育の一環として12月17日(土)に1年生を対象に、西九州大学から3人の講師をお招きして「継続・育成方STEAMガールズ in SAGA・SASEBO デリバリング講座」を開催しました。当日は全部で3つの講義・実験を行いました。その講座の1つが、チャイルドビジョン(幼児視野体験めがね)を作り、実際にそのめがねをつけて歩き、幼児の視野の狭さを実感し、日常生活に潜む危険を理解するというものでした。これは体験を通して弱者の立場を理解し、「思いやりの心」を育てる上でとても有用であることから、「ふれあい道徳」の一環とらえて取り組ませました。今回の取組を通じて、「生徒たちの科学分野へ興味を持つ態度」と「思いやりの心をもって他者と関わろうとする態度」の両方を育てることができたと思います。

講座を終えた1年生は、体育館で佐賀大学ダイバーシティ推進室副室長の 荒木 薫 医学博士による「理系の生徒育成に関する講話」を行っていただきました。生徒たちが進路を考えるうえでも大変役立つお話しで、これからの将来を考える良いきっかけになったと思います。

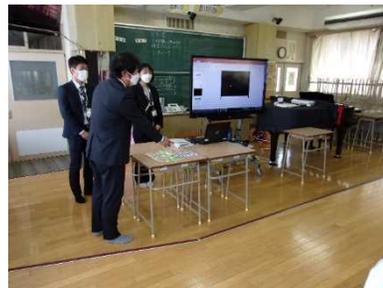
2年生 租税教室

12月7日(水)に2年生を対象に租税教室が開かれ、神埼市役所税務課の3名の講師の方々によって、税金について分かりやすく講演をしていただきました。

“そもそも税金って必要なの？”という問いに関連して、ビデオを視聴し、税金を払うことを無くしてしまうと、道路の整備が行われない、ゴミが回収されない、警察や消防が出動してくれない、子どもが学校に通うことができない、など、生活が不便になってしまうという内容でした。その後、“もし税金として集めた1億円を使えるとしたら、どんなことに使いますか？市議会議員になったつもりで、グループごとに考えてみましょう。”と、グループ活動を行いました。生徒たちは、各グループが協力して知恵を出しながら、道路の整備、学校をきれいにする(トイレの洋式化)、地域おこし、など税金の使い方を真剣に考えていました。難しい内容もありましたが、話を聞く姿勢も素晴らしく、大変勉強になったようでした。税務課の職員の方々本当にありがとうございました。生徒の感想を載せておきます。

○感想

- ・税金が必要ということは知っていましたが、なぜ必要なのか、どこにその税を使うのかは知らなかったです。
- ・税金について何も知らずに今まで生活してきたけど、今日話を聞いて私達が困らないように道路の整備や学費とか色々あるんだなと思いました。ビデオを見て、税がないって怖いんだと知りました。
- ・班で活動をするときも、税金の大切さがわかりました。お金を大切にしていきたいです。



▲ チャイルドビジョンをつけて歩いてみる



▲ 荒木 薫 先生の講演風景

令和5年 生徒会スローガン

12月9日(金)に全校集会を開き、新生徒会の認証式を行いました。新しく生徒の皆さんから選ばれた生徒会長・副会長と各部委員会の委員長・副委員長が発表されました。1年間よろしくお祈りします。ここに紹介します。

生徒会長	中村 心音	生徒会副会長	真鍋 心
生徒会本部書記	姫野 一騎	松尾 美和	
生活委員会	委員長 江頭 ひより	副委員長 内川 颯士	
学習委員会	委員長 原 花音	副委員長 合澤 世理	
給食委員会	委員長 日高 愛美	副委員長 大内 聖悟	
保健体育委員会	委員長 坂井 祐介	副委員長 野口 奈那	
厚生委員会	委員長 垣副 優奈	副委員長 井上 心結	
文化委員会	委員長 江口 月渚	副委員長 園田 遥夏	

また、旧生徒会役員の皆さん1年間ありがとうございました。千代田中学校を少しでも良くしようと本当に頑張ってくれました。慰労を込めて、拍手を送りたいと思います。

新生徒会の皆さんは先輩の活躍を受け継ぎ「彩～色どり豊かな楽しい生活～」の新しいスローガンのもと、積極的な活動が行われることを期待しています。もちろん生徒会役員だけが頑張っても目標は達成できません。全校生徒一人一人が千代田中学校を良くしようという思いを持ち続けてほしいと思います。

人権週間と人権集会

12月12日～16日の一週間は千代田中人権週間と銘打って、全ての先生方を各クラスに割り振って、朝の会で人権についての話をさせていただきました。いつもは授業を習っていない先生から人権についての話を聞くことができ、新鮮だったのではないのでしょうか。また、最終日の6時間目は全校生徒が体育館に入り、人権集会を行いました。

第一部は3年生の小森美初さんに人権作文を朗読をしてもらいました。小森さんは2年連続で佐賀県の人権作文コンクールで表彰を受けました。朗読してくれた作文は2年生の時に受賞したものです。内容は「私の妹は、たまたま障害を持って生まれてきたけれど、障害者は言葉を話せなかったり何か不自由なところがあるだけでみんな心があります。傷ついたり泣いたりもします。嫌なことをされたくない思うのは私たちと同じです。障害者だからと線を引いて壁を作らないでください。困難な人がいたら助け、行動できる力を持ってほしい、そして全ての人々が認め合い差別や偏見のない世界になれるよう支え合っていくべきです。」と訴えました。

第二部では、生徒会の生徒が「性の多様性」について生徒のみんなや教職員が理解できるようパワーポイントを使って説明してくれました。その中で、「LGBTの人たちは大変悩み、困っています。これから私たちができることはALLY（アライ：同盟・支援者）になることです。そのためにも性の多様性についてもっと深く学び、理解し、協力者になることが大切だと思います。」と解説してくれました。

最後に人権担当の北崎先生からの講話で締めくくりました。全校生徒は最後まで、私語をすることなく、真剣に聞いていました。この人権週間で、人権の種がまかれ、その心が大きく育ち、全ての人たちが安心して気持ちよく生活できる環境が実ることを楽しみにしています。

令和4年度もあとわずかになりました。保護者や地域の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。コロナ禍の中でも、生徒も職員も「学びを止めない」とする教育活動の中、本当によく頑張ってくれました。来る令和5年度が、皆様にとって幸多き一年になりますように心よりお祈り申し上げます。

良いお年を
お迎え下さい

表彰

佐賀広域消防局 防火ポスターコンクール

優秀賞	1年	古賀 夏希
入選	1年	槇 知子
〃	2年	徳永 莉子

社会を明るくする運動「作文コンテスト」

入選	3年	寺町 亜夕菜
〃	1年	石橋 朋佳

第58回 JA 共済 小・中学生書道コンクール

● 条幅の部

銀賞	3年	神代 愛依
銅賞	1年	田中 結
〃	3年	西村 陽菜

● 半紙の部

銅賞	1年	槇 知子
佳作	1年	古賀 優菜

第58回 JA 共済小・中学生交通安全ポスター

銅賞	2年	山口 蒼甫
佳作	2年	古賀 龍之介

第41回全国中学生人権作文コンテスト佐賀県大会

奨励賞	3年	小森 美初
〃	1年	片江 一海

学童美術展【平面審査】

● 県特選

1年	筒井 萌絵
2年	合澤 世理
2年	寺田 章浩
3年	大串 亜唯里
3年	百武 伶

● 地区入選

1年	中島 悠吾
1年	津留崎 朱桃
1年	矢野 結乙
1年	石橋 朋佳
2年	緒方 怜男
2年	野口 奈那
2年	檜崎 結依
3年	寺町 亜夕菜
3年	大谷 美嘉
3年	黒田 華穂

模範競技者賞「佐賀県中体連」

軟式野球部 3年 井口 蒼大

第35回佐賀県中学生新人大会兼第33回九州中学生選抜大会佐賀県予選会

第2位 女子ソフトボール部

● 県準特選

1年	酒見 理子
2年	原口 絢夏
2年	垣副 優奈
3年	秋吉 愛斗
3年	江頭 奏

1年	溝口 心葉
1年	神代 大暉
1年	槇 知子
2年	真鍋 心
2年	松尾 桃花
2年	江頭 優瑞
3年	高木 飛翔
3年	平田 汐良
3年	柿添 日遙

佐賀県中学生新人バレーボール大会

第3位 女子バレーボール部

令和4年度東部地区バスケットボール大会

第2位 女子バスケットボール部